

# 鈴鹿市・ベルフォンテン市 相互交流事業&友好協定25周年記念事業

一昨年(平成26年)よりベルフォンテン市との青少年の相互交流は、訪問と受け入れが隔年の実施となり、今年度は7月下旬に、ベルフォンテン市より派遣生8名と引率者3名を受け入れました。

そして、ちょうど今年がベルフォンテン市との友好協定調印25周年という節目の年だったため、ベルフォンテン市から市長グループ7名が派遣生に同行して鈴鹿を訪れました。

また、10月初旬には、鈴鹿から市長をはじめとする公式代表団がベルフォンテン市を訪問しています。

25周年を祝い、更なる交流の推進を図るべく、両市長による共同宣言がなされました。

以下、学生派遣団の受け入れの様子と、市長をはじめとする両市代表団の訪問の様子をご紹介します。

**[7月28日～8月1日]**

派遣生及び市長グループが来鈴  
7月29日(金)

派遣生及び市長グループは、末松市長を表敬訪問しました。⇒その後派遣生は、神戸中学校で学生間交流をしました。神戸中学校の生徒さん達は、みなさん英語でありさつ・進行をし、英語で作ったすごろくゲームをしたり、一緒に「妖怪体操第一」を踊ったりしました。



その後、本田技研工場・消防署・議場の見学をしました。

7月30日(土)

派遣生はホストファミリーと一日一緒に過ごし、市長グループは、鈴鹿市との情報交換会に出席しました。情報交換会では、SIFAの相互交流事業における研修内容についても事務局長が発表しました。

7月31日(日)

午前、市の主催で青少年討論会が行われました。一昨年ベルフォンテンへ行った派遣生OBがパネラーとして出席し、ベルフォンテンからの派遣生らと共に、「互いの市の偉人について、ボランティア及び地域貢献活動について」等話し合いました。

同日午後は、SIFA主催でフェアエルパーティを行いました。

華賀きもの学院さんのご協力のもと着物・浴衣を着て、書道・お琴・風呂敷包み・お抹茶席など日本文化を体験してもらいました。派遣生や市長グループのみなさんは、ホストファミリーと共に、とても充実した楽しい時間を過ごされました。



10月1日～6日、市長をはじめとする公式代表団が、ロサンゼルス市とベルフォンテン市を訪れました。

国際交流協会からも理事長と職員の二人が同行しました。

ロサンゼルス市では、三重県人会さんを中心に、お集まりいただいたみなさんの前で、SIFAで行う青少年交流の紹介をし、教育プログラムの更なる拡充の可能性を探るべく情報交換を致しました。



次に、ハリウッドにある総合音楽学校ミュージシャンズ インスティテュート (MI) を訪問しました。ここは、ジャズやブルース、ロックなどの現代アメリカ音楽を専門として、音楽短期大学や専門課程なども併設しており、またメイクアップのスペシャリスト養成校などもあります。

将来、鈴鹿から留学及び短期研修などに行く際の受け入れの可能性を探りました。

中学生・高校生の青少年交流のみではなく、鈴鹿にもっと多くの人材を受け入れ、また送り出す仕組みが出来ないか、これから探っていきたいと思っています。



ベルフォンテンでは、とても温かいおもてなしで歓迎を受けました。これも25年という長い歴史の中で育まれた2都市間の友情の賜物だと思います。



ウエルカムレセプションでは、鈴鹿市長より更なる友好親善を深めることを目的に、今後も継続的に良好な友好関係を保持し続けることが出来るよう、互いに努力していきたいと挨拶していただき、翌日のランチミーティングでは、両市長による共同宣言調印式が執り行われました。



また、ベルフォンテン市庁舎前の庭に、おかめ桜を両市メンバー共に植樹しました。



会場には、両市の学生が書いた「友情と平和」をテーマにした絵画が展示されていました。

両市の絆が、今後一層深まっていくことを祈念して、25周年記念事業は無事終わりました。